

## 第4回 CO<sub>2</sub>フリー化への取り組み

当会では2021年1月のオフィス移転を契機に、CO<sub>2</sub>フリー電力を導入しました。今回は、オフィスにおけるグリーン電力活用をテーマに、CO<sub>2</sub>フリー化に向けた、当会および会員各社の取り組みについて、経済産業省からの寄稿と共にご紹介します。

～ CO<sub>2</sub>フリー電力導入の方法について～

オフィスの使用電力  
CO<sub>2</sub>フリー化

### 1. 自社発電

再生可能エネルギー（以下、再エネ）を自社で発電する。

### 2. PPA (Power Purchase Agreement) モデルの導入

発電事業者に自社敷地等に再エネ発電設備（太陽光発電システム等）を設置してもらい、その設置費用や所有、管理も任せて発電された電力を受け取る。発電事業者は発電した電力の自家消費量を検針・請求し、使用者はその電気料金を支払う。

### 3. 新電力プランの導入

再エネ由来の電力を小売事業者より購入する。

### 4. 環境価値の導入

再エネ由来の電力を直接購入するのではなく、CO<sub>2</sub>等を削減したという環境価値を別途購入し、使用電力のCO<sub>2</sub>等排出を相殺（オフセット）する（クレジットの導入、証書の購入等）。

#### 環境価値の導入例

- ① J-クレジット制度
- ② 非化石証書
- ③ グリーン電力証書